

【岐阜市学校教育基本指針】

学校・家庭・地域の誰もが生命の尊厳を理解し、互いに心を開く対話を重ね、
一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進する

【学校の教育目標】

なかまと共にやりぬく子

【めざす子どもの姿】

- かしこく 自ら課題を見つけ、考え、追求し、自分の考えを豊かに表現できる子
- やさしく 周囲の人や相手の気持ちを考えて行動できる、やさしく豊かな心をもつ子
- たくましく 健全で強い心と体で、最後までやりぬくことができる子

【経営の重点】

確かな学び

- 主体的に学びに向かい、知識・技能を身に付ける子の育成
- なかまとともに考え、話し合い、豊かに表現できる子の育成

豊かな心・仲間関係

- いじめを許さず、あたたかい心で人間関係を築く子の育成
- 自分を知り、仲間の中で自分のよさを生かしていく子の育成

粘り強く挑戦する心

- 学校や社会のきまりを守り安全に行動できる子の育成
- 自分の弱さを見つめ、粘り強く挑戦する子の育成

- 1 学びに向かう意識を引き出し、力をつける教科指導の推進
=「知りたい」「仲間と関わって学びたい」「わかった・できた」
・【やり切る授業】定着を見届け、「分かった！できた！」を90%超
・【聴く（インプット）】が基本。聴かせる指導の徹底
・【アウトプット力】向上のための各教科における「言語活動」の充実、「タブレットの活用」
・日々の【授業改善】による「主体的、対話的で深い学び」の実現

2 読書指導の推進

- ・朝活動による「読書指導」の充実
- ・図書館利用の推進
- ・「読み聞かせ」の推進

3 学び方を身に付け、主体的に取り組む家庭学習習慣の定着

- ・基礎学力を定着させる家庭学習
- ・eライブラリ・タブレット端末の活用

1 「たのしさ」を基本に思いやりの心と豊かな仲間関係の育成

- ・長森西小版人権宣言【にこぽか心宣言2021】の意識化と行動化に向けての継続的な指導
- ・児童会の主体的な動きを使った「全校人権啓発活動」の推進
- ・「人権週間」の主要行事化による全校の動きの統一と内容の充実
- ・「よいこと見つけ」の充実

2 社会性を育む活動の推進

- ・全校縦割り活動の活性化によるリーダー育成（なかよしフェス）
- ・学級活動等の充実による仲間意識の醸成
- ・あいさつボランティアの推進
- ・地域との連携による活動の推進（長西ふれあいフェス、新荒田川清掃等）

3 教育相談の充実

- ・教育相談の時間の設定
- ・実態に応じたスクールカウンセラーの計画的組織的な活用

1 確かな規範意識の育成

- ・「長森西スタンダード」を軸とした職員の共通指導と共に行動の徹底
- ・活動始めのチャイムで主体的な時間行動の向上と気持ちの切り替え

2 学校環境衛生活動の推進

- ・児童主体の清潔で安心して生活できる活環境づくり、環境整備
- ・SDG'sを明確に取り入れた学年ごとの教育活動の推進

3 健康と命を守る意識と行動力の育成

- ・登下校と日常生活における命を守る行動（訓練を含む）の徹底
- ・感染症予防に関わる健康実践の推進
- ・発達段階に応じた保健指導
- ・休み時間を利用した体力作り
- ・給食時間を中心とした食育指導の充実

教師の姿勢 =「互いをリスペクト」

「学校力・教師力」「働き方改革」

- 組織機能の活性化とチームとしての協働
 - ・【同僚性】（同僚とは敬う相手であり感謝すべき相手）を高め、持ち味を生かせる教職員集団
 - ・共通行動と組織的指導に徹する職員集団（指導部・学年の動きの強化・連携）
 - ・地域・家庭（も含めてチーム）に信頼される教職員集団
- 勤務の適正化と働き方改革
 - ・【学年内分業制】の推進
 - ・常に業務改革を念頭に入れ、柔軟にアイデアを出し合う
 - ・【自己マネジメント力】（仕事の軽重をつけ、先を見通した働き方）でワークライフバランスを目指す
 - ・「お互い様」が合言葉、17：30の退勤をめざす

地域・家庭との連携 =「信頼」「協働」

- コミュニティ・スクール推進事業の充実
 - ・学校運営協議会、学校支援推進委員会との強固で継続的な信頼関係の構築
 - ・地域の優れた人材の発掘・地域教育力の活用（ボランティアスタッフの積極的な導入）
 - ・ぎふMIRAI'Sと関連ある実践の積み上げ
- 家庭・地域との連携
 - ・いきいきティーチャーの活用
 - ・「褒め貯金」を増やすための家庭との情報交流推進
 - ・家庭・地域への情報発信（HPの充実、タブレット端末を活用を模索した保護者との交流）
 - ・PTAとの連携による開かれた学校の推進
 - ・幼稚園・保育園・中学校との連携の強化